

人権委員会だより

2017. 11. 16 発行

文化祭 「北条きら里ショップ」 報告

11月2日に行われた文化祭での、人権委員会の活動を紹介します。

人権委員会では昨年まで、「NPO法人 ほっとねっと ひだま里」のシフォンケーキを販売する「ひだま里カフェ」をしていました。今年は、商業研究部と一緒に「ひだま里」に加えて、「社会福祉法人 北条育成園」と、「NPO法人SORA きらりのウッディ」からも商品を仕入れ、3か所の福祉施設の皆さんが心を込めて作っている商品を販売させていただきました。

店の名前は、「北条育成園」の「北条」、「きらりのウッディ」の「きら」、「ひだま里」の「里」を組み合わせて、「北条きら里ショップ」にしました。

今回の人権委員会だよりは、それぞれの福祉施設を訪問した時の様子と、文化祭の活動を紹介します。

1 施設訪問、事前準備について

私たちは、文化祭で商品を販売させていただくに当たり、3つのグループに分かれて、事前に各施設を訪問しました。それは、それぞれの商品が、どんなところで、どんな想いを込めて作られているのかを、実際に見せていただきながら学び、話を伺うためです。

私たちは、訪問して教わったことや気付いたことを、各グループで模造紙にまとめて、文化祭で展示しました。また、商品を紹介するPOPや広告を作成しました。



《北条育成園 訪問》

感想：「福祉施設を訪問して」

- ・ 「北条育成園」を訪問して、自分ができる仕事を一生懸命して、日々を充実させることは大変で、難しいことだと教わりました。でも、そうすることはとても大切で、私自身も改めて「頑張ろう」と思えるように、見学に行き背中を押された気がしました。友達にも、「北条育成園」に行った時のことを話したいです。施設が運営している見晴らしが最高のカフェ「加佐波野」にも行ってみたいと思います。
- ・ 「北条育成園」を訪問して、利用者さん一人一人が仕事をしたり学習したりしている様子を見て、訪問する前に、あまり良いイメージを持っていなかった自分が恥ずかしくなりました。自分は今までこういった施設について詳しく知らなかったので、今回いろいろと学ぶことができました。今後こういう活動には、すすんで参加したいです。
- ・ いろいろな障がいを持った人が生活している様子から、私と同じように生きて、日々の生活を楽しんでいることを知りました。働いていた人達は、自分のできることを頑張っていました。自分ができることを頑張ることの大切さを学びました。

《ひだま里 訪問》



- ・ 「ひだま里」では、一人一人が積極的に楽しそうに働く姿がありました。お弁当は、1日約100食も作るそうで、大変な仕事だと思いました。「お弁当を届けに行った時に笑顔で挨拶をすると、笑顔でありがとうと言ってもらえる。お礼を言われた時に、一番やりがいを感じる。」と休憩していた人が教えてくれました。私は、これからは、いろいろな場面でお礼をしっかり言おうと思います。

- ・ 私は将来、介護福祉士になって、障がい者支援施設で働きたいと考えているので、自分の将来と関連付けながら学ぶことができました。「きらりのウッディ」には、話をすることが少し苦手な方もおられましたが、インタビューをしていると聞くことができ、貴重な時間になりました。人権委員会ではこういった福祉的な体験ができます。12月に盲学校へ行くのも楽しみです。
- ・ 「きらりのウッディ」では、手作業で、1つ1つ丁寧に色塗りをして、マグネットを作っていて商品に対する温かい心と手作り商品のぬくもりを感じました。

《きらりのウッディ 作業風景》



感想：「福祉施設の紹介、POP、広告を作って」

- ・ 人に紹介するという事は、その福祉施設のことを、ただ書くのではなくて、自分の体験や考えも書くと、より相手に分かりやすくなると思いました。
- ・ 施設に行ったことがない人にも様子が分かってもらえるように、少しでも多くの人に私達の感動を届けられるように、工夫して模造紙を書きました。
- ・ 自分が訪問した「ひだま里」の良さが、どう工夫したら伝わるのか、分かりやすく伝えるレイアウトを考えるのが大変でした。チラシ作成など、人に伝える仕事をしている人は、本当にすごいと、切に感じました。模造紙にまとめる作業をしたことで、「ひだま里」の良さを、しっかりと受け止めることができたので、販売を頑張ろうという気持ちになりました。

感想：「販売活動の準備や、販売練習をして」

- ・ 販売練習はとても緊張しました。必要な言葉を言い忘れてしまったり、合計金額の計算に時間がかかりすぎてしまったり、大変でした。お金を扱う仕事は、責任がある仕事だとよく分かりました。文化祭当日は、効率の良さと正確さを一番に考えて頑張りたいです。
- ・ お客様に分かりやすく、丁寧に失礼の無い対応を心がけたいです。いつも、何気なく買い物していて、レジの仕事は簡単そうに見えていましたが、実際にやってみると、結構難しいと実感しました。これからは、レジの人の対応をもっとよく見て研究して、良いところを真似していきたいと思いました。

2 文化祭「北条きら里ショップ」を体験して

文化祭では、「ひだま里」の皆さんにシフォンケーキのハーフサイズを販売していただき、それ以外の商品を、人権委員会と商業研究部で販売しました。

感想：「北条きら里ショップでの販売活動」

- ・ お客様が笑顔になると、販売している側も嬉しくなりました。接客は大変な仕事だけど得るものもたくさんあると感じました。
- ・ お客様への対応や、どうやったら売れるのかを考えて販売するのは、思っていたよりも難しく、物を売ることが難しいことを学びました。販売活動は笑顔で、精算と袋詰めはできるだけ早く、かつ、ていねいに心をかけて、楽しみながら販売することができました。



- ・ 私は店長をしました。自信がなかったのですが、無事にやり遂げることができ、たくさんのお客様に来ていただいて嬉しかったです。当たり前のことですが、一番驚き、良かったと思うことは、おつりを間違えることなく、最後のお金の合計金額と、売った数の金額がぴったり合ったことです。レジの人がきちんと練習をして、落ち着いて、責任を持って仕事を果たしたからだと思います。今回の販売活動を通して、お客様との接し方を学び、仕事は簡単に見えても、いろいろ考えながらしないといけないことを実感しました。この経験は社会に出ても役に立つと思うので、貴重な体験ができて良かったです。

《ひだま里の皆さんと一緒に記念撮影》



経験で自分に足りないものに気付くことができたので、これからあるインターンシップでは、今回の経験を生かして頑張りたいと思います。

《開店準備 商品をきれいに並べました》



- ・ 私は、文化祭で売る側の経験をするのが初めてで、最初は緊張して、うまくお金を渡せなかったり、「いらっしやいませ」「ありがとうございました」を大きな声で言えませんでした。でも、最後の方は慣れてうまくできました。



- ・ 思っていた以上に早く、シフォンケーキのハーフがあっという間に売れてびっくりしました。私は、お客様に「ありがとう」と言われるのがこんなにも嬉しいことだと分かっていなかったのだから、「ありがとう」を、たくさん言いたいと思いました。

- ・ 私は、積極的に商品の説明ができなかったことを後悔しています。でも、この

- 今回の販売活動は、今の自分と将来の自分に、とても役に立つ貴重な体験となりました。私は、人と接することが苦手なので、販売活動をするという時は不安でたまらず、自分が文化祭で接客をしている様子が想像できませんでした。でも、徐々に慣れていくことができました。販売活動での接客の力は、将来仕事をする上で欠かせないものだと思います。今回の経験をこれからの生活に活かして、人から必要とされる人間になりたいです。



《お客様がたくさん来ていただきました》



《間違えない様、丁寧に対応しました》

- 販売する時には、誠心誠意心を含めなければ、買ってくださる人が不快な思いをすることが分かりました。「良い販売をするためには、お客さんを第一にする」という事が分かりました。簡単なようでとても難しいです。将来、働く時に、今回学んだことを活かせるように頑張っていきたいです。そして、私は笑顔が少なかったと思うので、働くときはもっと笑顔を心がけたいです。

3 販売した商品の紹介

「北条育成園」……クッキー（チョコチップ・レーズンとくるみ・ハート・オートミール）
 一茶の道せんべい（青のり・ごま・グリーンピース・ピーナッツ）
 「きらりのウッディ」……マグネットいろいろ、クッキーいろいろ、マドレーヌ
 「ひだま里」……シフォンケーキ（バニラ・抹茶・ココア・紅茶・かぼちゃ）

シフォンケーキのハーフサイズは400円。それ以外の商品は全て100円。どの商品も「100円でいいの?!?!」と思うくらい良い商品で、お客様には大好評でした。特にシフォンケーキは、販売開始前から行列ができ、ハーフサイズはわずか15分で売り切れてしまいました。

4 お客様の感想と私達からのメッセージを届けました。



文化祭で商品を買ってくださったお客様の感想と私達のメッセージを画用紙にまとめて、各施設に届けました。施設の方からは「お客様に喜んでいただき、メンバー、スタッフ共々、大変嬉しく思っています。」という言葉をいただき、販売活動を行って本当に良かったと改めて感じました。

お買い上げいただいた多くの皆さん、感想を書いてくださった皆さん、本当にありがとうございました。